鹿児島市議会議員

平山 タカヒサ

市民とスクラム！市政にトライ!!

２０１７年
議会報告 vol.04

自宅　〒891-0116
鹿児島市上福元町 5779-5
電話　099-267-0300
携帯　090-8769-6584

２０１７年第１回市議会

２０１７年第１回定例会は、３月２１日の最終本会議において、一般会計約 2,411 億円、特別会計約 1,380 億円、企業会計約 630 億円の当初予算案や市役所の組織の見直しなどの条例案、その他の議案を可決し、閉会しました。一般会計の当初予算規模としては、前倒し分を含めた実質的な規模が過去最高となりました。

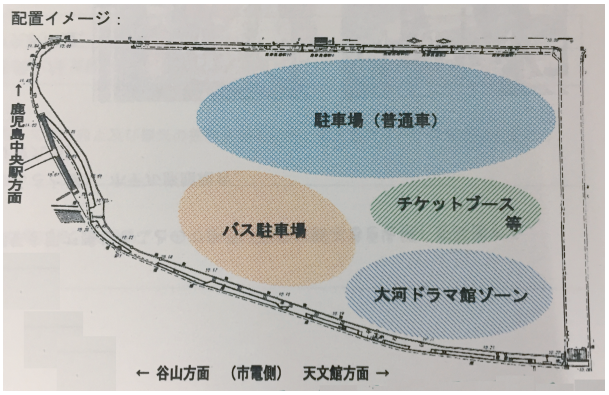
歳出予算の主な内容は、大河ドラマ「西郷（せご）どん」の放映に合わせたドラマ館の設置、保育所等の利用定員拡大や保育士等の処遇改善、児童クラブの整備や支援員の処遇改善、2015 年の介護保険法改正に伴う介護予防、日常生活支援総合事業の開始。その他にも市立病院跡地緑地整備事業や新産業創出支援事業、2020 年のかごしま国体の開催に向けた関連施設整備事業などです。

今議会において、我が社民・市民フォーラムから大森忍市議が代表質疑を、森山きよみ市議が個人質疑を行い、当局の考え方を質しました。

今後も地域や議会で議論をしながら、市民の皆様にとって機能的で安心・安全なまちづくりを目指して精一杯取り組んでまいります。

大河ドラマ「西郷どん」プロジェクト推進事業

2018 年 1 月からの大河ドラマ「西郷どん」放映に合わせ、ドラマ館の設置や県等と連携したプロモーションを実施するため、大河ドラマ「西郷どん」プロジェクト推進事業に関連する予算が計上されました。ドラマ館は市立病院跡地に 2018 年 1 月から翌年 1 月までの開設を予定しています。



西谷山第三児童クラブ専用施設開設

2017 年度予算案で新たに 18 か所の児童クラブが運営を開始する予定で、西谷山第三児童クラブもそのひとつです。18 児童クラブ全体の定員は 885 名で、西谷山第三の定員は 50 名となっており、待機児童の解消が図られることになります。

平山タカヒサのプロフィール

1967 年　11 月 30 日名瀬市（現奄美市）生まれ
伊津部小学校→西谷山小学校、谷山中学校
鹿児島中央高校、県立短期大学Ⅱ部商経科卒業
1987 年　4月鹿児島市役所入庁
2015 年　9月 30 日市役所退職
2016 年　4 月市議会議員選挙に出馬。初当選

社民・市民フォーラム鹿児島市議団

市政報告

2017年
01月
議会号

〒892-8677
鹿児島市山下町11-1
鹿児島市議会社民・市民フォーラム控室
電 話：099-216-1438
FAX：099-226-1019
http://www.sdp-kagoshima-city.org

代表質疑

非常勤職員の処遇改善の今後の課題について

■総務局長：非常勤職員の処遇については、報酬水準の引き上げや通勤費用相当分の費用弁償の支給等に取り組んできたが、今回新たに支給要件の見直しをするもので、これまで課題とされていた任用や勤務条件のあり方についても、国の研究会がまとめた報告書において提言されていることから、今後とも国等の動向を見守っていきたい。

これまで児童相談所を設置しなかったことと今回設置するに至った経過・背景について

■健康福祉局長：本市に県の児童相談所が設置されていること、職員の専門性の確保や職員配置等に伴うコスト増など、さまざまな課題があったが、本市における虐待の相談件数認定件数ともに年々増加傾向にあることから、児童虐待防止などの対応を強化し、子育て支援のさらなる充実を図るため、設置に向けた取り組みを進めることとした。

本市独自の私立保育所の保育士や児童クラブの支援員の処遇改善について

■健康福祉局長：保育士の処遇改善に係る給付時期等については、国から詳細が示されていないが、全ての職員を対象に、月額６千円程度の改善に加え、園長および主任保育士を除く経験年数がおおむね７年以上の中堅職員を対象に、月額４万円、おおむね３年以上の職員に、月額５千円の改善がなされる。

児童クラブの支援員の処遇改善については国の 29 年度予算案の人件費見直しに対応し、各児童クラブの運営委託料の積算基礎としている報酬の時間単価を現行の８０４円から９３０円に改定するほか、健康管理等の観点から健康診断を実施する。

市立病院におけるサービス残業解消に向けた院長の決意について

■院長：職員の働きやすい環境づくりは、医療の質や患者へのサービスにも影響することから、職員の心身の健康保持等の観点からも、職員一人ひとりが、やりがいや充実感を持って仕事に取り組めるよう風通しの良い職場づくりに努めていく必要がある。現在、働き方改革が国民的関心を集める中、関係機関とも十分協議しながら、適切に対応していく。

個人質疑

運転免許証返納の実態や返納制度の促進について

■市民局長：本市における運転免許証返納者数は平成24年度 626 人28年度では 1,265 人。返納率1位は大阪府の 3.31%。鹿児島県は 19 位の 1.4%で本市は 1.15%。自主返納のメリットは指定ホテルの宿泊料の割引や市電や県内の路線バスが半額になる。他都市ではタクシー利用券の交付などの優遇措置があり、今後、高齢者が返納しやすい環境整備を図るため、各面から検討を進めたい。

鹿児島マラソンの前回大会との比較や今後の対応について

■観光交流局長：参加申込者は県外からは減少したが県内から増加。全体では前回申込者数を上回っており、テレビ放映などで認知度が高まったのでは。定員や参加料は、適正・ご理解いただけるものと考える。新たな賞については、遠来・夫婦賞などご指摘の面や他都市を調査し、検討したい。

社民・市民フォーラム
団長　森山　きよみ（市民健康福祉委員会）
副団長　秋広　正健（建設委員会）
ふじくぼ　博文（総務消防委員会）
大森　忍（産業観光企業委員会）
中原　ちから（環境文教委員会）
平山　タカヒサ（産業観光企業委員会）